

FUJI COLLECTION
[擁壁シリーズ]

補強土壁

テールアルメ F S 【NETIS 登録 QS-170 031-A】

特 長

安全性を確保したまま
調査、措置が可能

壁内部異常の「みえる化」
Fail Sensor 機能

安全性の維持
Fail Safe 機能

内部異常
のサイン



実物写真



コンクリートスキン
ストリップ
壁面

テールアルメの
基本構造



FSコネクティブA
FSコネクティブB
ストリップ

FS コネクティブ
基本構成

平常時



マーキング
コンクリート
スキン

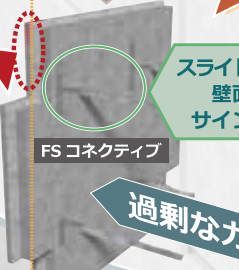
FS コネクティブ

壁面に過剰な力が
加わる
または
腐食の進行

異常発生
FS コネクティブA
破断

内部異常のサイン
コンクリートスキンが傾き
異常を目視できます

異常発生時



FS コネクティブ

スライド機能により
壁面が傾き
サインが現れる

過剰な力

異常発生時の
FS コネクティブ



FSコネクティブAが
破断した場合
FSコネクティブBの
スライド機能により
コンクリートスキンが前に傾きます

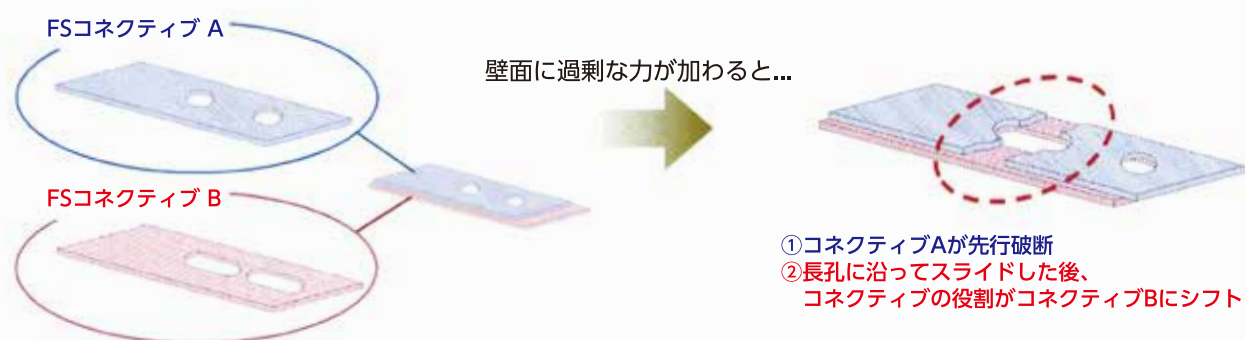
FS コネクティブA
破断

FS コネクティブB
+ ボルト
保持

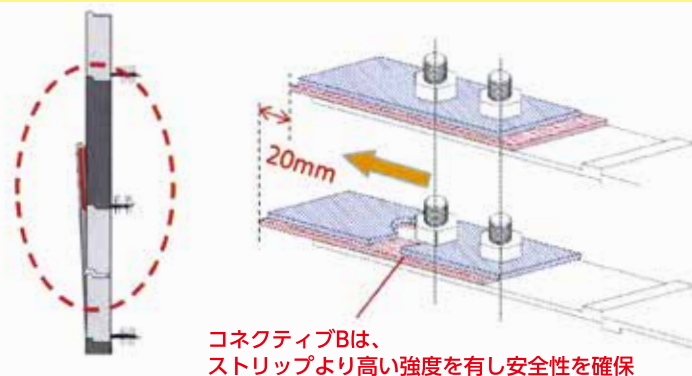
特 徴

- ◆2つのFS機能（フェイルセーフ、フェイルセンサー）による維持管理
- ◆点検手法である目視確認に特化
- ◆FS機能で安全性を確保したまま調査・対策検討・措置が可能

◆安全性を維持するフェイルセーフ(Fail Safe)機能



◆内部異常を可視化するフェイルセンサー(Fail Sensor)機能



コネクティブ機能がスライドすると、壁面が機能的に傾き、不具合を外観で目視可能

変状サインを確認した後も、コネクティブは正常に機能しているので、安全性を確保したまま、調査・対策検討・措置が可能

【補修の流れ、補修方法】

◆部分的な補修・交換が可能です◆

目視点検

- ・壁面の傾き及び変状サインを確認

周辺の壁面調査

- ・壁面全体を目視または測量にて調査
- ・盛土材料の採取

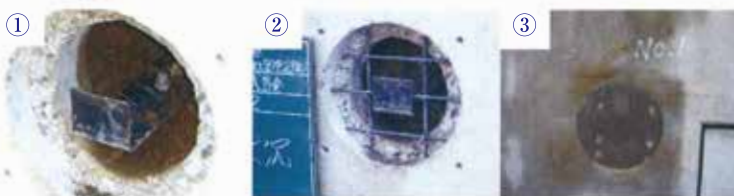
補修範囲及び方法の決定

- ・変状原因の特定
- ・補修範囲及び方法の選定

補修工着工

- ・壁面材交換及び打ち換え
- ・アンカー工による壁面材補強など

【コネクティブ部 再施工】



【壁面材 再施工】



パネルの取替えも簡単